

令和7年度 医療分野の研究開発関連予算のポイント

健康・医療戦略推進本部の下で各省が連携し、令和6年度補正予算（391億円）と合わせ、医療分野の研究開発を政府一体で推進。

	7年度予算	6年度予算 (当初)	対前年度		6年度予算 (補正)
			増▲減額	増▲減率	
日本医療研究開発機構 (AMED) 対象経費	1,232億円 (こ6,総3,文583, 厚479,経161)	1,245億円 (こ6,総5,文581, 厚481,経171)	▲12億円	▲1.0%	288億円 (文178, 厚82,経29)
インハウス研究機関経費	813億円 (こ0,文251,厚500,経61)	805億円 (こ0,文253,厚478,経74)	+8億円	+1.0%	103億円 (厚103)

- 上記経費に加え、内閣府に計上される「科学技術イノベーション創造推進費(555億円)」の一部(175億円)を医療分野の研究開発関連の調整費として充当見込み。
- 令和6年度補正予算に、AMED対象経費として288億円(文178、厚82、経29)、インハウス研究機関経費として103億円(厚103)を計上。
- 上記における計数は、それぞれ四捨五入しているため、端数において合計とは合致しないものがある。

※ 精査により計数等に異動が生じる場合がある。

主な取組

令和7年度以降を対象期間とした新プロジェクトは、モダリティ等を軸とした統合プロジェクトを発展・強化させるとともに、出口志向の研究開発の推進、臨床試験体制の強化、新規モダリティ医薬品の国内製造体制の強化、アカデミアやスタートアップの絶え間ないシーズ創出・育成などの重点化により、基礎から実用化まで一貫した医療分野の研究開発を強力に推進する。

1. 医薬品プロジェクト 344億円 <AMED 306億円、インハウス 38億円>

- 産学官共同創薬研究プロジェクト(GAPFREE)、臨床試験実施(社会実装)の可能性が高い課題等の採択による高機能バイオ医薬品等の創出、がんの生物学的な本態解明等の基礎研究への重点支援やがん治療薬・がん免疫療法等の研究開発、難治性疾患の病態解明と診断・治療・予防法の開発、小児を対象とした臨床研究・医師主導治験、高度化する解析機器の整備や先端研究基盤を用いた高度技術者・研究者育成、創薬プロセスにおける複数のAIを統合した創薬AIプラットフォームの構築、新規モダリティを含む医薬品等の評価にかかるレギュラトリーサイエンス研究の推進、新規モダリティの製造基盤技術開発等

2. 医療機器・ヘルスケアプロジェクト 83億円 <AMED >

- グローバル市場のニーズを捕捉する医療機器・システムの研究開発と現地の規制・許認可等に対応する伴走支援、医療機器スタートアップに対する臨床試験等への援助、体外診断用医薬品の開発、エビデンスに基づくヘルスケアサービスの社会実装に向けた仕組み整備、アカデミア等が有するシーズを革新的な医療機器・システムにつなげる研究開発・事業化・実用化に向けた伴走支援等

3. 再生・細胞医療・遺伝子治療プロジェクト 194億円 <AMED >

- 再生・細胞医療・遺伝子治療の実用化に向けて、萌芽的なシーズの発掘・育成、製造・品質管理の一貫性を担保する研究、非ウイルス性遺伝子改変CAR-T細胞療法等の臨床試験支援、次世代iPS細胞の実用化に繋げるための研究開発の加速や再生・細胞医療の製造に汎用可能な自動化プラットフォーム開発等

4. 感染症プロジェクト 81億円 <AMED >

- 令和7年4月に設立される国立健康危機管理研究機構と連携した感染症有事を見据えた研究開発基盤の強化及び感染症の科学的知見の創出の促進、海外研究拠点の整備を通じた研究、感染症のワクチン・診断薬・治療薬等の研究開発、疫学調査や病態メカニズムの解明、HIV感染症やB型肝炎ウイルス感染症の治療法開発等(基金事業として、「ワクチン開発・生産体制強化戦略」に基づいた先進的研究開発戦略センターを通じた世界トップレベル研究開発拠点の形成、感染症有事に備えたシミュレーションの実施等)

5. データ利活用・ライフコースプロジェクト 218億円 <AMED 200億円、インハウス 18億円>

- ゲノム・データ基盤の整備・発展・利活用の促進、がん、移植、精神疾患、慢性の痛み、認知症、成育、女性、循環器疾患・糖尿病や腎疾患や免疫アレルギーや長寿科学を含む生活習慣病領域及び難病等におけるデータを活用した病態解明、実用可能な予防法・診断法・治療法の新規開発、ゲノム医療、個別化医療の実現に向けた研究開発等

6. シーズ開発・基礎研究プロジェクト 214億円 <AMED >

- 組織の枠を超えた時限的な研究体制を構築して先端的研究開発を推進、国際頭脳循環の一層の強化・加速、国際共同研究等の戦略的展開、海外の臨床現場で導入・普及されていない医薬品等の実装・臨床研究、ヒトの高次脳機能の解明や神経疾患・精神疾患等の診断・治療・創薬等シーズの研究開発等(基金事業として、100歳まで健康不安ない未来社会の実現に向けたムーンショット型研究開発の推進)

7. 橋渡し・臨床加速化プロジェクト 86億円 <AMED >

- 橋渡し研究支援機関を通じた医師主導治験や企業導出に向けた機関内外のシーズ発掘・育成支援、臨床研究中核病院、医療系スタートアップ支援拠点との連携の緊密化、臨床研究中核病院におけるドラッグラグ/ドラッグロス解消に向けた治験・臨床研究の推進、欧米等で先端的な臨床試験を実施する医療機関等への人材派遣等(基金事業として、医学系研究者の研究活動と研究環境改善の一体的支援(医学系研究支援プログラム))

8. イノベーション・エコシステムプロジェクト 【基金事業】 <AMED >

- AMEDに造成した基金により、国内外のベンチャーキャピタルの認定と認定ベンチャーキャピタルが出資するベンチャー企業への非臨床・治験段階の開発支援、複数年にわたる幅広い産学連携での医薬品等の研究開発等を実施

※上記に加え、AMED運営費交付金等のAMED対象経費が69億円、インハウス研究機関の運営経費等のインハウス研究機関経費が757億円ある。